

年度計画中の各項目		自己評価	県評価	県評価の理由			
大項目	小項目						
第1 高度医療・人材育成拠点の整備							
1 高度医療・人材育成拠点整備に向けた取組							
(1) 高度急性期を中心とした医療機能	ア 「断らない救急」体制の構築	4	3	3	救急車受入台数が過去最高を記録しており、救急医療体制の強化が見られる一方で、救急搬送患者応需率は昨年度を上回っているものの目標は達成しておらず、「断らない救急」の実現に向けて課題が残る。全体として高度医療・人材育成拠点整備に向けた取組は概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。		
	イ 幅広い疾患に対応する「こども病院」	3			3	年度計画を概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。	
	ウ 最新の集学的ながん医療	3			3	二葉の里病院の実績が未確定であるものの、広島病院は概ね例年通りの件数を維持しており、年度計画を概ね順調に実施していると評価出来るため、「3」と評価する。	
	エ 新興・再興感染症への対応	3			3	年度計画を概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。	
	オ 災害対応	3			2	DMATの体制拡充や院内研修の実施は評価出来るが、指標となっている広島大学との連携に向けた協議を行えておらず、地域の医療機関との連携のあり方を策定するプロセスに遅れが生じていることから、「2」と評価する。	
	カ 各診療領域における高度急性期を中心とする拠点の整備	4			4	手術件数、全身麻酔件数、救急車受入台数など、高度急性期拠点としての重点事項はコロナ禍以降過去最高を記録しており、ロボット支援手術件数も目標値を大きく上回るなど、計画を上回って推移していることから、「4」と評価する。	
	(2) 医療人材育成機能	ア 高度急性期医療を担う人材確保・育成	4	3	3	人材の確保に向けた取組を積極的に行っており、指標も達成している。専門研修プログラムも拡張し、今後更なる人材の確保が期待できることから「4」と評価する。	
		イ 地域医療を担う人材確保・育成	3			2	人材確保・育成に向けた基盤整備を行っている一方、指標となっている専門研修プログラムの選択人数は0人となっていることから、成果が出るには至っておらず、「2」と評価する。
		ウ 病院経営を担う人材の確保・育成	4			4	専門資格取得支援制度の創設によって、医療経営士などの専門資格新規合格者は目標を上回っており、着実に成果が出ていることから「4」と評価する。
	(3) 広島県の医療提供体制を支える機能	ア 県内の拠点病院等との連携	4	4	4	拠点病院等との連携に関する協議回数については、目標値を大幅に上回っており、拠点病院との連携に関する協議回数については、回数は未達ながらも、県内の広域かつ多数の医療施設が参加する場で協議を行っており、その意義は大きいことから、連携に向けた取組は計画以上に進んでいるため「4」と評価する。	
		イ 周辺の医療機関と連携した地域完結型医療	4			4	指標となっている2項目はいずれも目標値を大幅に上回っている。連携の具体化については検討を開始したところとあるものの、法人化初年度としては十分な成果を上げており、今後の発展性にも期待が持てることから「4」と評価する。
	(4) その他	ア 戦略的な広報の推進	3	4	3	広報活動については十分な成果が出ており、指標の数値にも表れている点は評価出来るが、目標と実績が大幅に乖離しており、目標設定や達成水準などの精査が不十分であったと考えられるため「3」と評価する。	
		イ 医療DXの推進	4			3	医療DXの実装及び基盤整備に向けた取組は進んでおり、患者満足度は上昇傾向だが、医師の時間外労働時間は増加が見られるなど、成果については年度計画を上回る水準と認められないため「3」と評価する。
		ウ 積極的な臨床研究の実施	4			4	指標が計画を上回って推移していることから「4」と評価する。
		エ 安定的な経営基盤の構築	4			3	広島病院のCFが黒字になった点は大きく評価出来る一方、紹介患者数の減少が見られる点や、二葉の里病院や安芸津病院の経営は依然厳しい状況であること、また、多くの取組が検討段階であることから、計画を上回って推移しているとは評価できないため「3」と評価する。

年度計画中の各項目		自己評価		県評価	県評価の理由	
大項目	小項目					
第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 高度医療の安定的かつ継続的な提供と地域医療への貢献						
(1) 県立広島病院		4		3	各項目において、指標改善のための取組を積極的に行っており、救急車受入台数が過去最高を記録していることや、手術件数が指標を上回っているなど、高度医療を提供する役割を果たしている。しかし、紹介率や逆紹介率の指標が目標未達であり、地域医療への貢献に向けて課題が残ることから「3」と評価する。 地域の医療拠点として、ほとんどの指標で目標値を上回っている他、更なる体制の強化を図っている点も評価が出来ることから「4」と評価する。 救急車受入台数や全身麻酔手術件数などの項目が目標を下回っている一方、その他の項目では目標と同水準、もしくは上回っている。全体としては概ね順調に推移していることから「3」と評価する。	
(2) 県立安芸津病院		4		4		
(3) 県立二葉の里病院		4		3		
2 患者の視点に立った医療の提供						
(1) 患者にとって最適な医療の提供		3		3	各病院間でクリニカルパスの適用率に差があるものの、指標は概ね目標を達成しているため、計画に向けて順調に推移していることから「3」と評価する。 指標については実績が目標を大きく下回っているものの、より客観的な質の評価が可能となるよう改善を図っているとともに、その中においても90%を超える満足度を維持出来ていることから、全体としては概ね順調に推移しているものと判断できるため、「3」と評価する。 患者支援体制の充実に向けた取組は概ね実施されており、患者満足度には反映されていないものの、計画に沿った取組は一定程度実施されていることから「3」と評価する。	
(2) 患者等の満足度の向上	ア 患者サービスの向上	4	4	3		3
	イ 患者支援体制の充実	4		3		
(3) 積極的な情報発信		3		3	年度計画を概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。	
3 安全・安心な医療の提供						
(1) 医療安全対策の推進		3		3	安芸津病院では目標を下回っている状況であるものの、患者に高齢者が多いことや、個別に医療安全委員会を毎月開催し、周知徹底を図っており、他の公立病院と比べると発生率は低い水準にあることから、「3」と評価する。	
(2) 適切な情報管理		3		3		
4 災害や公衆衛生上の緊急事態への対応						
(1) 災害医療における緊急事態への対応		3		3	年度計画を概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。	
(2) 公衆衛生上の緊急事態への対応		3		4	指標が目標を大きく上回っていることから、「4」と評価する。	
5 医療に関する調査・研究の実施		3		3	年度計画を概ね順調に実施しているため、「3」と評価する。	
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
(1) 業務運営体制の構築		4		4	法人化後、様々な経営改善策を積極的に行っており、その結果各病院医業収支は着実な改善傾向が認められる。法人化後初年度にもかかわらず大きな成果を上げており、予定を上回る進捗と認められるため、「4」と評価する。	
(2) 中期目標達成に向けた取組		4		3	PDCAサイクルを回した結果、着実な成果として収益増が見られている点は評価出来る。中期計画の達成に向けて概ね計画通りに実施しているため、「3」と評価する。	
(3) 効果的・効率的な業務運営		4		3	医療DXの推進に伴い、業務の効率化やコストの縮減が図られている一方、医師の残業時間の部分的な増加が見られるなど、法人全体ではまだ一定の課題が見られることから、「3」と評価する。	
(4) 働きやすい勤務環境の整備		4		4	各病院ともにそれぞれの指標のほとんどの項目で大幅な改善が見られ、高い目標を設定したにもかかわらずそれを上回る実績をあげた。全体として年度計画を上回って実施しているため「4」と評価する。	

年度計画中の各項目		自己評価	県評価	県評価の理由
大項目	小項目			
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置				
	1 収入の確保	4	2	広島病院では下半期にかけて大きく経営状況が改善し、経営改善の取組が成果として現れている。しかし、病院毎の指標としては未達のものが多く、中期計画の達成に向けて現時点ではまだ進捗が遅れているため、「2」と評価する。
	2 費用の適正化	4	3	①の経営分析、クリニカルパスの見直しや、②の医療資材の共同購入に向けた取組を行っており、一定の評価が出来る。③の職員配置の適正化については、一部体制の検討に留まっているものの、全体としては年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価する。
	3 適切な投資の実施と効果の検証	4	3	年度計画の項目については整理や検討に留まっているが、法人化初年度として年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価する。
第5 その他業務運営に関する事項				
	1 法令・社会規範の遵守	4	3	法人化後初年度として、適切に監査を実施し、また、コンプライアンス遵守に向けた研修も実施するなど、年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価する。
	2 県立安芸津病院の耐震化	4	3	安芸津病院の耐震化対応に向けては、県と連携した取組として予定通りに進捗しており、年度計画に記載のとおり基本設計に着手していることから年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価する。
	3 地域社会への貢献	2	3	ホームページ改修による情報発信体制の強化は着実に成果が出ており、地域住民への情報提供及び病院の周知についても指標を達成している。全体として年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価する。